



一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン 2024年度第2回理事会議事録

1. 日時 : 2024年9月16日(月) 10:08~12:00
2. 場所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル ZoomにてWeb会議
3. 出席者
(1) 出席者 10名 大橋健、水野勝教、今井俊二、中島晃芳、森重智年、野村泰朗、松山森仁、政岡恵太郎、瀧本英智、田中宏明(監事)
欠席者 1名 島谷太
(2) 理事以外の出席者 3名 前田正久(事務局長)、浅沼まり(事務局)、休場万喜(事務局)
4. 議事
 1. 2024年名古屋大会総括
 2. 2025年名古屋大会について
 3. 競技運営指針について
 4. サッカー・カテゴリー編成について
 5. ブロック長会議について
 6. その他
5. 資料
 - 資料1. RCJJ2024 エントリチーム・登録者数集計
 - 資料2. RCJJ2024名古屋参加者アンケート
 - 資料3. Rescue&Sim 競技運営2025
 - 資料4. 2025競技運営指針
 - 資料5. サッカー新リーグ設立について

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①大橋代表理事が議長に選出され開会を宣言し、本理事会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 2024年名古屋大会総括

①松山理事よりサッカーの総括が行われた。昨年と比較し規模を縮小して実施。WSO, NSEについては問題なく進行できたが、WSLの成績順位決定においてトラブルが発生し、予定にない試合を実施したことで表彰式に間に合わず、迷惑をかけてしまったことについて謝罪があった。手順を見直す等の対策については話し合っており、来年の大会に活かしていきたい。また、WSOにおいてインタビュー審査を追加し、世界大会により近い形式になりレベルの向上に努めたとの報告がなされた。大橋代表理事より、試合の追加について事務局に事前報告がなかったため、今後は事前に共有頂きたいとの要望がなされた。

②森重理事より、資料3に基づきレスキューの統括が行われた。参加チーム数においては全体で10チーム強の増加があった。メイズ、メイズ・エントリーは増加傾向にあるが、シミュレーションは変わらず苦戦している。当日の運営については大きな問題はなかったとの報告がなされた。

③中島理事よりオンステージの総括がなされ、前回に比べスタッフを確保することができ円滑な運営ができたが、日本リーグの参加チームが減少しているため対策が必要であるとの報告がなされた。

④瀧本理事より受付について、1日目のピーク時には十分な人員があったが、2日目以降の人員が不足する時があった。参加者への事前の情報共有、同伴者登録のフォーマット見直し、総合受付の有無等の検討が必要であるとの報告がなされた。中島理事より、受付までの誘導係が不足していたようなので、指揮系統に改善の余地があるとの意見がなされた。

⑤野村理事より交流会について総括がなされ、各リーグよりOBのボランティア等にロボットの説明をしてもらい、チーム数が減少しているOnStageにはプレゼンテーションをやってもらった。ま

た、ポスターを囲んでの意見交換を行った。資料2のアンケートにもあるように、交流会開催の周知や内容に関する意見があったので、参考にして改善したいとの報告がなされた。中島理事より、何を何処でするのか分からず参加者が少なかったので、早い段階でのアナウンスが必要ではないか。また、選手達がどのような交流会を望んでいるのか事前に情報を集める必要があるのではないかと意見がなされた。森重理事より、レスキューでは技術的な交流会は競技後行っているので、技術委員ともコミュニケーションを図り、それ以外の交流をしてはどうかとの意見がなされた。松山理事より、キャプテンミーティングで周知することもできるので、事前に情報を共有して欲しいとの意見がなされた。野村理事より、コロナ前までは技術委員が中心となって交流会を行ってきたので、今後は内容について技術委員等との連携が必要との意見がなされた。

(3)2025年名古屋大会について

①大橋代表理事より、先月に第1回目の実行委員会が開催され、3月末の開催時期について若干の懸念があるものの、同会場で3度目の開催であることから、これまで通りの運営方法で実施されるとの報告がなされた。

(4)競技運営指針について

①森重理事より、資料4に基づき競技名およびリーグの編成案について説明がなされた。国際委員会からロボカップの正式種目とそれ以外の独自のルールで行うローカル競技を区別するよう通達があったのを受け、WLとNLという分け方ではなく、オフィシャルな競技とそれ以外のローカルな競技を○○チャレンジのような名称にし、区別してはどうか。また、世界選抜がある競技名の頭に★印をつけ、国内独自の競技には従来の競技名の後ろにエントリーを付けて区別する案がなされた。

- ・水野専務理事より、WSLは新リーグを設立する案があり、また、CoSpace Rescueは世界大会選抜が無くなったため、WLのカテゴリから見直す必要がある。この機会にWLとNLの体制を見直し名称を変更してはどうかとの意見がなされた。
- ・松山理事より、WLとNLの枠組みを見直す案に賛成であり、理由として①リーグによってはWLとNLの（ルール上の）差があまり無い②初めて参加する人にとってWL/NLのどちらに参加すればいいのかわかりにくいのではないかと。枠がなければどのリーグに参加したいかで選ぶことができる③これまでNLからWLへどのように移行させるかが課題であったが、WLという枠があったことが問題ではないか④世界ではエントリーという名称があり、それに準じてはどうかとの意見がなされた。
- ・野村理事より、②についてわかりやすさに差があるとは思えず、変更の本質が見えない。③について、WL/NLが無くなれば、移行問題が解消すると考えているのか、問題はカテゴリの違いと言うよりルールの違いではないか。また、WLを増やしたいのか、NLでロボカップの普及に力を入れて参加者数を増やしたいのか、どちらに重点を置きたいのか見えないとの意見がなされた。
- ・松山理事より、国際ではSoccer Entryのルールがあり、時期尚早ではあるが国内で採用されることを考慮すれば名称だけでも先に取り入れてはどうか。また、サッカーのNLとWLではルールにあまり差がなく、センサーの有無だけではないかという指導者もいる。
- ・中島理事より、OnStageのNLでは独自のルールを採用しており、NLを普及か、WLへの橋渡しのリーグとして位置づけは難しいとの意見がなされた。
- ・水野専務理事より、Rescueではエントリーを作ったことで、WLのMazeの参加チーム数増加に一定の効果が見られた。各リーグにより問題は異なるため統一することは難しいが、スポンサーや開催都市に対し説明する必要はあるとの意見がなされた。
- ・大橋代表理事より、世界選抜がある競技をWorldリーグ、国内独自のルールを採用した競技およびCoSpaceをChallengeリーグとし、各リーグ（サッカー、レスキュー、OnStage）の中にWorldとChallengeが属する分類法の提案がなされた。また、森重理事より、その他項目については、大きな変更はない旨説明がなされた。大橋代表理事より、2025競技運営指針の変更について議場に諮ったところ、満場一致で承認がなされた。なお、Challengeリーグの競技名の後にエントリーを付けるか否かについては、各リーグの判断に委ねることで確認がなされた。分類コードについては、別途協議することで確認がなされた。

(5)サッカー新リーグ設立について

①松山理事より、資料5に基づき、世界大会選抜無し、年齢制限有り（中学生以下、出場回数制限なし）のライトウェイトを新設する提案がなされた。①WLのサッカーライトウェイトは、上位層と下位層の実力差が大きく、エントリーからの移行の精神的妨げとなっている。②チーム数が多いためスイス式トーナメントの精度が低くなっている。これらの問題を解消するため、新リーグを設立し、実力差の緩和と精度の向上、運営の効率化を図りたいとの説明がなされた。また、選抜手順（暫定）として、以下のとおり進めることで確認がなされた。ブロック長は、①ブロック（ノード）のエントリー時に従来のLWか新リーグのLWに参加かを確認②12月末までにチーム数を報告③LWと新リーグLWの枠数を決定。なお、ノード、ブロック大会でLWと新リーグLWの競技を分けて実施するか否かは、各ブロックの判断とする

の確認がなされた。

・大橋代表理事より、World Leagueでは年齢の下限を設けるのかという問いに対し、松山理事より、年齢の下限は設けず、年齢に関係なくチャレンジすることができるが、世界大会へ推薦されるチームは参加資格を満たす必要があるとの回答がなされた。

・大橋代表理事より、サッカーライトウェイトの新リーグ設立について議場に諮られ、満場一致で承認がなされた。

(6)ブロック長会議について

①大橋理事より、本議題とは別に各リーグからブロック長に対し、報告や提案する件はないか確認がなされた。

(7)その他

①水野専務理事より、Zoomについて、継続して更新するとの確認がなされた。世界大会のツアーについて進展があるか前田事務局長に確認したところ、詳細が決まってからの相談となるとの回答がなされた。また、2025年以降のジャパンオープンの開催候補地が未定のため、興味のある自治体はないかとの確認がなされた。これに対し政岡理事より、興味を示す自治体はあるが費用面で参考となる資料は無いかとの質問がなされ、前田事務局長より開催した自治体に直接問い合わせよう回答がなされた。

②森重理事より、CoSpaceについて、大会開催時に使用するシミュレーターのライセンス費用の発生について説明がなされ、費用負担については実行委員会に確認することとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2024年9月16日

議長	大橋 健	
理事	水野 勝教	
同	今井 俊二	
同	中島 晃芳	
同	野村 泰朗	
同	森重 智年	
同	松山 森仁	
同	政岡 恵太朗	
同	瀧本 英智	
監事	田中 宏明	